

議会だより

おおくま

No.16
(臨時4号)
平成24年
2月1日
発行



大熊の未来を
にんって

大熊町成人式

平成24年1月8日、会津若松市ワシントンホテルで開催されました。
友人と久々の再開で、思い出に花をさかせました。

P2 定例会、臨時会

P3 ~ P5 ... 一般質問

P6 ~ P7 ... 委員会紹介

P8 議会活動一覧

大熊町役場 会津若松出張所
〒965-0873
福島県会津若松市追手町2-41
TEL 0242-26-3844 (代表)

電子ポケット線量計を購入

3歳未満の乳幼児と妊婦へ貸与

平成23年12月定例会は、3日間の会期で開催され、平成23年度一般会計補正予算91億2774万円とする議案や、条例改正など17議案が審議され、全議案可決されました。

災害復興対策特別委員会設置

インフラ整備、生活支援、除染等の災害復興の調査を行うため設置しました。

議員定数及び報酬等調査特別委員会

議員の定数及び報酬等のあり方を調査するため設置しました。

復旧事業・災害状況調査委託

復旧へ向けてインフラの被害状況について調査を開始しました。
8685万円

特定住所移転者に関する条例

これは原子力発電所の事故による災害に対処するための条例です。大熊町より住所を移転しても県や町の情報が届くようにするものです。

電子ポケット線量計購入

3歳未満の乳幼児と妊婦を対象に、放射線からの不安を解消するために貸与されます。

積算式の電子線量計657個購入で1545万円です。

3歳以上中学生まではガラスバッジ式のを配布済です。

質問 空間線量が測定できるものにすべきでは。

回答 外部被ばくが積算できる線量計を選定した。

固定資産評価委員の選任

中野 孝重 氏

生年月日 昭和18年4月15日

住 所 大熊町大字熊字熊町15番地

※全会一致で可決

議員報酬10%削減

平成23年7月より実施されていた議員報酬10%削減が任期満了により終了しましたが、一般選挙後の議会でも引き続き実施することになりました。

今後の報酬のあり方については、今定例会で設置された特別委員会で調査いたします。

臨時議会

大熊町監査委員の選任

仲 野 剛 氏

生年月日 昭和44年9月28日

住 所 大熊町大字熊字旭台67番地

※全会一致で可決

屋根養生補修工事の設計変更

11月30日に終了予定の工事を3月31日に延長しました。

屋根のシート養生を921戸から1071戸へ、窓養生を321戸から375戸へ変更するもので9970万円を追加しました。

一般質問

復興のために



鈴木 浩一
議員

問 復興を担う事業組織の設置を

答 除染班、復興計画班を編成する

鈴木 災害対策本部の中に生活支援班、復興対策班を設けて町民が分かりやすく、利用しやすい行政をすべきではないか。

町長 生活支援、復興対策は対策本部の中で実施している。今後は除染班、復興計画班を編成し本格除染、復興計画を策定し対応する。

雇用創出

鈴木 大熊町復興を担う事業組織を設立し、町民の雇

問 アンケートを実施し復興計画に反映しては

答 選択が可能な意向調査を実施する



阿部 光國
議員

阿部 2月下旬にも試験的な除染の結果が国から示される。

その結果を町民にわかりやすく公開し、アンケートを実施することにより、当面の復興計画に反映させてはどうか。

町長 町民の皆様それぞれに事情に応じた選択が可能となる意向調査を実施し、施策決定していく。意向調査の時期については、平成24年3月を目標としている。

問 国へ復興のロードマップを提示させるべきでは

答 科学的根拠について冷静に判断し調整していく



仲野 剛
議員

仲野 国道や常磐線はいつまでに復旧するのか、高速道路はいつ整備するのか、除染はいつまでに、どの値まで下げるのかなど、明確なロードマップを提示させるべきでは。

町長 今後国からいろいろな提案があると思うが、町としては放射線量、健康への影響など科学的な根拠について冷静に判断しながら町民の立場に立った計画となるよう調整していく。

放射線

阿部 国が安全と定める放射線の正しい知識を知り学ぶ場や情報が必要だと思いが。

町長 専門家の講演会を開催し、その内容を広報などと一緒に配布することも一案かもしれない。その都度、専門家の助言をいただきながら情報提供していく。

仲野 自治体が存続するとはどういうことなのか、行政サービスとは何なのか、その辺をしっかりと議論して行かなければならないと考えるが。

町長 町内の線量の低い地域を復興の拠点としたニュータウンの建設。

高線量で期間が長引く地域が出た場合は、仕事や子供の教育で町を離れる方々の支援策についても考えていく。



廣嶋 公治
議員

問 借り上げ住宅にも支援物資を

答 支援は今後検討する

廣嶋 物資の支援は仮設住宅町民に限られている、借り上げ住宅町民はなぜもらえないのかと不満がある。

町として何か対策が必要ではないか。

町長 仮設住宅へは冬期対策として石油ストーブ支援を県事業で進めている。借り上げ住宅へも対象となるよう要望している。
町独自の対策として一人3万円の支援を12月13日より支給する。
借り上げ住宅への支援は今後も検討する。

健康管理

廣嶋 今回の原発事故では長期避難が懸念されるが町民の中には心の病・潜在的病気の併発が増えている。

若松では2名の保健師が健康管理に対応している。

いわき市へは他県より派遣された保健師が対応しているが町採用の保健師をいわき市に配置してはどうか。
町長 いわき市へは横浜・新潟チームが活動している。
早急に健康福祉対策として保健師を確保し、いわき市へ配置する。



武内 弘
議員

問 町民農園を作る計画をしては

答 希望者があれば前向きに検討する

武内 避難生活をよりよく過ごすために遊休農地を借りて町民農園を作り、心のリフレッシュを図れないか。

町長 希望者があれば、前向きに考える。

集会所活用

武内 仮設住宅の集会所は活用されているか。

町長 冬の閉じこもり防止を目的に親子の遊びの日や、介護予防教室を実施している。

防火対策

武内 仮設住宅における冬季の防火対策は万全か。

町長 消火器を個別に配布

している。町民の皆様は防火意識で安全が保たれるので、ご協力をお願いしたい。
交通安全

武内 仮設住宅に、町独自の交通標識を設置できないか。

町長 状況を判断し、看板が標識か設置の方法を検討したい。

平等化

武内 仮設住宅、借上げ住宅の平等化は図れないか。

町長 できるだけきめの細かい対応を考えている。

災害救助法の法律の枠組みもあるが、避難されている町民の皆さんの立場に立って対応したい。



伊藤 昌夫
議員

問 一日も早い内部被ばく調査を

答 早急に全町民の調査を進める

伊藤 町民が安心して生活できる様、一日も早い内部被ばく調査を。

町長 12月9日現在の進捗状況は1635人が終了。早急に全町民の調査を進める。

サテライト校

伊藤 親元から通学困難な高校生を持つ保護者にとつて、経済的負担増は明白である、支援策は。

町長 県も親元を離れて生活する生徒には、宿泊費の負担や舎監の配置を検討している。

支援物資

伊藤 物資の支援は仮設住宅中心で借上げ住宅には届

問 復興の時期を早く示すべき

答 今年度中にアンケートを実施する

堀川 スピード感もち町が除染計画を作成。速やかに町民の意向調査を行い、帰る組と帰れない組に分け両方の復興方針・計画を策定し、同時並行で進め、町民に勇気と未来への夢と希望の灯をともしることが喫緊の要務ではないか。

町長 除染計画は帰還に伴う除染基準の明確化などに つとめ、今年度中にアンケート調査を実施する。復興計画は大熊町を去るという選択の方も同時並行で実施する内容で策定する。

弁護士結成

堀川 動産など財物はすべて東京電力が、土地・家屋など不動産はすべて国が損害賠償扱いでそれぞれ買い取ることに。資産評価額は再調査が可能となること。個人の力量では対応が困難なので専門弁護士を結成すべきでは。

町長 町には顧問弁護士がいる。また平成24年1月から行政書士会の協力のもと相談窓口を開く。町民の皆様にしつかり対応できる体制を確立する。



堀川 巨夫
議員

町民の願いはひとつ 総理大臣に要請

1月18日、官邸において、「一日も早く帰宅できるよう早期にあらゆる除染技術を駆使し効果を示すこと。併せて除染ロードマップを明示すること。」をはじめ、4項目について総理大臣他各関係する大臣に要請してきました。



委員会紹介

総務文教常任委員会

大熊町の復興と、町の宝である子供たちの未来を守るのが総務文教常任委員会の役割です。しっかりと未来へつなぎます。



仲野 剛 阿部光國 松永秀篤
伊藤昌夫 堀川巨夫 武内 弘
(委員長 堀川巨夫) (副委員長 伊藤昌夫)

産業厚生常任委員会

町民の付託に応え、大熊町の復興、帰還に尽力するべく、課題に真摯に向き合い、意見具申をしていきます。



石田忠文 渡邊信行 加藤良一 吉岡健太郎
廣嶋公治 鈴木光一 石田洋一
(委員長 鈴木光一) (副委員長 廣嶋公治)

広報公聴常任委員会

議会活動はもちろんですが、各地域で活躍している町民の方々の活動、思いを分かりやすくお届けします。



仲野 剛 伊藤昌夫 廣嶋公治 吉岡健太郎
阿部光國 加藤良一 石田洋一
(委員長 加藤良一) (副委員長 阿部光國)



松永秀篤 仲野 剛
 渡邊信行 吉岡健太郎 鈴木光一
 (委員長 吉岡健太郎) (副委員長 鈴木光一)

議会運営委員会

議会活動が円滑、かつ効率的に運営するのが役割です。また議長の諮問機関でもあります。

議会在が機能するため、政治の力が活かされるために議会はどうかあるべきか、現代に沿った答えを追究していきます。

議員定数及び報酬等調査特別委員会



武内 弘 伊藤昌夫 廣嶋公治
 加藤良一 仲野 剛 石田洋一
 (委員長 仲野 剛) (副委員長 加藤良一)



石田忠文 阿部光國 鈴木光一 吉岡健太郎
 堀川巨夫 松永秀篤 渡邊信行
 (委員長 松永秀篤) (副委員長 堀川巨夫)

災害復興対策特別委員会

一日も早く震災前の生活と活力を回復させ、大熊町をもとに戻すためだけではなく、創造的な町づくりを提言していきます。

議 会 活 動 一 覧

平成23年12月1日～平成24年1月18日まで

- | | | |
|-----|-----|-----------------------|
| 12月 | 1日 | 国会への要請活動（東京都） |
| | 3日 | 双葉地方総決起大会（いわき市） |
| | 5日 | 議会運営委員会 |
| | 5日 | 全員協議会 |
| | 6日 | 双葉地方町村会議長・局長合同会議（福島市） |
| | 7日 | 双葉地方町村会議長・局長合同会議（福島市） |
| | 9日 | 議会運営委員会 |
| | 12日 | 広報公聴常任委員会 |
| | 14日 | 12月定例会 |
| | 15日 | 12月定例会 |
| | 16日 | 12月定例会 |
| | 19日 | 災害復興対策特別委員会 |
| | 20日 | 産業厚生常任委員会 |
| | 21日 | 総務文教常任委員会 |
| | 22日 | 災害復興対策特別委員会 |
| | 22日 | 全員協議会 |
| | 28日 | 双葉地方電源地域政策協議会（福島市） |
-
- | | | |
|----|-----|---------------------------|
| 1月 | 5日 | 双葉地方電源地域政策協議会（福島市） |
| | 6日 | 広報公聴常任委員会 |
| | 8日 | 成人式 |
| | 12日 | 大熊町議会議員の定数及び報酬に関する調査特別委員会 |
| | 13日 | 広報公聴常任委員会 |
| | 16日 | 原発サミット実行委員会（東京都） |
| | 17日 | 福島県選出国会議員への要請活動（東京都） |
| | 18日 | 国会、各省庁への要請活動（東京都） |

編集後記

故郷を離れ10ヶ月が過ぎました。大変な日々を送っている町民の皆様に志賀秀朗前町長より激励の詩を投稿していただきました。

題名・異郷の郷

今日も暮れゆく

異郷の郷に

皆さん辛かる切なからう

我慢だ待っている

みんなで頑張れば帰る日が来る

春が来る

必ずみんなで帰りましょう。

広報公聴常任委員会

委員長	加藤 良一
副委員長	阿部 光國
委員	廣嶋 公治
委員	伊藤 昌夫
委員	仲野 剛
委員	吉岡 健太郎
委員	石田 洋一
発行責任者	千葉 幸生